

答辞

ひと雨ごとに暖かさが増して、肌を刺すような冷たい外気がいつの間にかやわらぎ、吹く風に春の訪れを感じられる季節となりました。

本日は、ご多用の中、そしてこのような状況の中、理事長先生をはじめ、学院長先生、学長先生、諸先生方、大学職員の皆様には、私たち卒業生のために学位記授与式を挙げていただき、誠にありがとうございます。卒業生一同、心より御礼申し上げます。

卒業を迎え、4年間を振り返ってみますと、多くの経験と様々な人との出会いを通じて、大きく成長できた濃密な4年間でした。

私たちは4年前の春、大学生活への期待と希望を胸に抱き、この宮城学院女子大学に新しく誕生した現代ビジネス学部の一期生として、桜ヶ丘キャンパスに足を踏み入れました。入学当初は、広いキャンパスに圧倒され、生活の変化に対応しきれずに戸惑うことも多くありました。しかし、諸先生方のご指導や大学職員の皆様のサポートのおかげで、共に学ぶ仲間と、少しずつ新しい環境に慣れていったことを思い出します。

私が在籍する現代ビジネス学科では、経営学やマーケティングといったビジネスの基礎から観光や国際といった分野まで幅広く学ぶことができます。また、教室を飛び出し、実際の現場で実践力を養うことを大切にしており、アクティブな学びを得ることができるのも特徴です。新学科の1期生ということもあり、新しく始めることばかりでしたが、諸先生方と学生が共に新しい学科を築きながら過ごしていたことが印象深く残っています。

1年次から、実際に企業で働く方々からお話を聴く機会があったり、3年次のゼミナールの活動での野菜の生産状況調査では、多くの農家の方々と関わったように、現代ビジネス学科では、様々な人との出会いを経験することができました。限られた環境での交流だけではなく、幅広い分野の人との出会いによって、多様な考えや想いに触れることができ、自分の視野が広がりました。

また、入学前は人前に立って話をすることに苦手意識を持っていました。しかし、外国の方や農家の方、研究者など多くの方の前で多数のプレゼンテーションを行う機会を得たことで、それまでの苦手意識が薄れ、自信へと繋がりました。自分の考えや意見を伝える力が向上したように感じます。

このように現代ビジネス学科で経験することができた幅広い分野の人との出会いや教室を飛び

出したアクティブな学びといったすべてが、私の人生において大切な財産になったことは間違いありません。

4月より、私たちはそれぞれが決めた新しい道を歩みはじめます。時には、新たに始まる環境に慣れず、悩むこともあるかもしれません。しかし、大学生活4年間で得た経験や学び、思い出を糧とし、宮城学院女子大学で培った「神を畏れ、隣人を愛す」の精神のもと、これからの人生を一步ずつ歩んでいく所存です。

現在、日本に限らず全世界でコロナウイルスが広がっており、経済や人々の生活に大きな影響をもたらしています。このような状況が1日も早く落ち着き、終息することを願います。

最後になりますが、今日まで私たちを見守り、温かくご指導していただきました理事長先生をはじめ、学院長先生、学長先生、諸先生方、大学職員の皆様に心より御礼申し上げます。

また、どんな時もそばで支え、励ましてくれた家族、楽しい時も苦しい時も共に過ごし、切磋琢磨し合った友人に感謝申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げるとともに、宮城学院女子大学のより一層の発展を祈念して、ここに答辞とさせていただきます。

2020年3月19日

2019年度宮城学院女子大学卒業生総代

現代ビジネス学科 菅原美愛